

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
あおぞら		R7年 3月 31日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100			改善の余地、工夫し変化する必要性を感じる中で視覚情報から理解しやすい掲示や物の配置等工夫して参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100		活発に活動する児童、落ち着いて過ごしたい児童に分かれた際、ケガのないよう配置、場所の声掛けをしております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100		お子さんの心身的状況や様子から、個別場所で安心して過ごせる環境整備を行っております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100		各職員の業務進行状況を聞き、今何を優先するべきかで、各職員が滞りなく進むようにしております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100		研修参加後に、社内研修にて同認識、共有の場を設けております。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100		保護者さんの意向に伴い、ご家庭や事業所でのお子さんの様子から目標設定をさせて頂いております。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100		会議等にて、支援計画の共有を行い同認識のもと、支援させて頂いております。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100		月1で話し合い、アイデアを出し合い決定しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100		子どもたちからの提案での発見や職員間で5領域に沿った活動を取り組めるよう、話し合いやアイデアを出し合い決定しております。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100			朝、帰り送迎後毎日打ち合わせをし、各職員視点での意見を聞き支援に繋げております。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100			活動内容や声掛け等各場面での気づきを共有し、次回利用時の向けて活動設定や見直しを行っております。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100			保護者さんや職員間での、計画見直しを行い、必要に応じて面談を設け、計画の変更確認を行っています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100			自分が何をしたいのか、誰としたいのか明確な声掛け、気持ちや意志の伝達、決定が出来るようサポートを行っております。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100			日々の送迎の際、担任の先生や支援の先生にその日の出来事、気持ちなどの様子を共有して頂き支援に繋げております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	60	40		地域の他のお子さんと活動を共にする機会が少ない為、合同ライブなどで繋がる機会を持つよう努めて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	100			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100			日々送迎時、その日の出来事や様子を保護者さんへ伝達している。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100			保護者さん参加型の各研修で、ご家庭やお子さんに必要な支援提供やサポートへ繋がるよう研修機会を設けて参ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100			直接ノートや送迎の際にお話を伺い、共通認識を持ち助言と改善に向けた支援に取り組んでおります。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	100		年1で保護者会を開催し、作品展やミュージックライブ等で保護者さんとの交流の促しサポートを行っております。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100		週1必ずHP、SNSをアップし、活動の様子を広く周知して頂けるようにしております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	80	10		町内郵便局のご協力の元作品展やミュージックライブの開催しております。今後も、子どもたちが地域に触れあえるよう努めて参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100		安全計画の見直しや会議にて研修を行っております。送迎時やおたよりにて研修内容を保護さんが周知しやすいよう工夫しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100		3カ月に一度必ず行い、職員間での認識を共有するよう努めております。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100				